

使用方法

- ① Back to Back を、メッシュ面を前にしてシートの背もたれに沿わせてください。
- ② Back to Back 上部の平ベルトをシートのヘッドレストに取り付け長さを調節し、たるみのないようにして正しい位置でお使いください。(右取付図参照)
- ③ お使いの車の背もたれにランバーサポート(腰部調節機能)が装備されている場合は、最低位置まで下げて、シートバックがフラット(平ら)になるようにしてお使いください。



使用上の注意

- ① 使用当初、背中、腰に姿勢を正しくさせるための動き(好転現象)により違和感や不安定さが起こる場合がありますが、1~4週間を過ぎますと心地良い使用感を味わえます。
- ② 背中、腰等に強い痛みや重くだるさ等が出た場合はご使用をお止めください。
- ③ 背中、腰等の怪我や疾病等での治療中の方はご使用をお止めください。
- ④ 推奨適応身長は140cm以上です。
- ⑤ 本品を火に近づけたり、長時間直接日光にさらさないでください。
- ⑥ 本品を無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。
- ⑦ オレンジジュース等酸性の強いものやガソリン等の揮発性のあるものは、内部構造に悪影響を及ぼすおそれがありますので、本品にたらしさないでください。
- ⑧ 危険防止のため、本品上部の平ベルトはシートのヘッドレストに必ずお取り付けください。
- ⑨ Back to Back 装着により、座面での腰の位置が5cmほど前にきます。また、ハンドル操作によっては若干上半身が左右に動きやすくなります。

お手入れ

- ① 外カバー(メッシュのついているカバー)は取り外して洗濯できます。
- ② 本体(外カバー以外)は洗濯できません。
- ③ 洗濯時は注意ラベル(外カバーの裏に記載)を確認の上、行ってください。

株式会社 ドクターエル

〒326-0807 足利市大正町 870-1

www.dr-l.co.jp

TEL 0284-40-3711



身体のポテンシャル(潜在能力)を高める

シートバッククッション

Back to Back

バックトゥーバック

取扱説明書

2つの機能(2極力学対応)

人の背骨(脊椎)がS字カーブを描くのは、骨格が直立時にかかる重力に対応するため進化の過程で創りだされたものです。

重力下の座った状態においては、たとえS字カーブを作りだしても背骨を保持するための筋肉組織は緊張感が緩み骨組みは互いに連携する力を弱め、よりどころを失いがちになります。

特に、運転時では足からのペダル操作も加わり、腰骨や背骨は必然的に支える筋力に不足を生じ腰痛や背痛、肩こりなどの症状を引き起こす大きな要因になります。

これらを解決するため、バイオメカニクス(生体力学)応用の2つの機能(2極力学対応)を持った

シートバッククッション **Back to Back** です。

■当商品を十分に理解していただくためにもこの取扱説明書を必ずお読みください。

Back to Back が持つ 2 つの機能 (2 極力学対応)

腰にかかる体重を分散させる (重力分散)

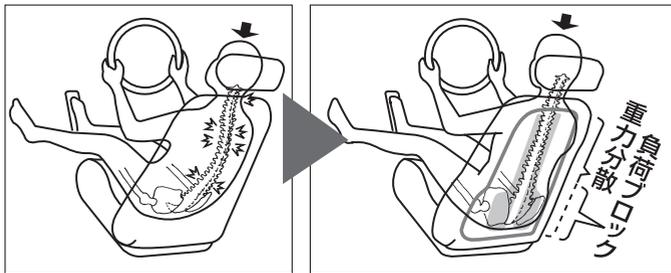
通常、シートに座っている時には、背中中の筋肉がゆるみ上半身の体重が直接腰にかかりやすくなります。これは、運転時の腰の疲れや痛みの大きな原因になっており、腰にかかる体重を分散させる必要があります。

Back to Back を使用しますと、背骨周辺の筋肉が縦方向に沿って押されることで、今まで腰のみにかかっていた体重を分散する働きが起こります。この状態は人が直立している状態に近く、背骨や椎間板が個々に体重を吸収しやすくなり腰にかかる負担を軽くします。

ペダル操作からくる腰への負担をブロック (負荷ブロック)

運転時の連続したペダル操作は、ペダルを踏むときの力により、腰に思いもよらない負担をかけています。

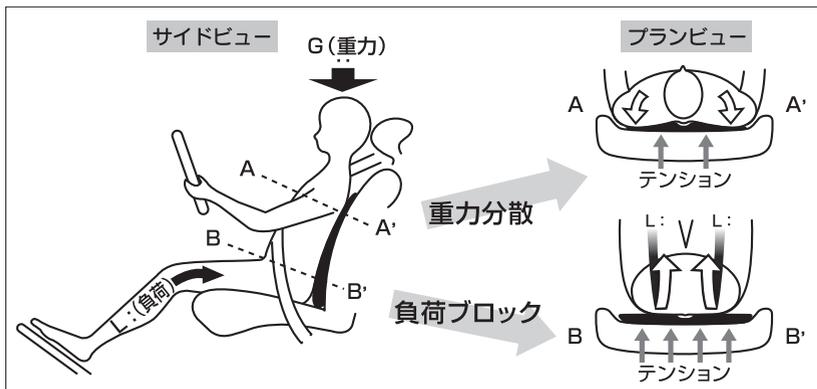
Back to Back を使用することで、適度な硬さと平面形状を持ったクッション部が、シートと腰のすき間をなくし、ペダル操作から腰に伝わる負担をしっかり跳ね返し、腰や関節の疲れや痛みを和らげます。



テンションが掛かる部分

背中や腰にテンション (緊張感) を与えるから疲れにくい

2 つの機能は上から見た (プランビュー) 背中中の形状に対応し創られています



特長

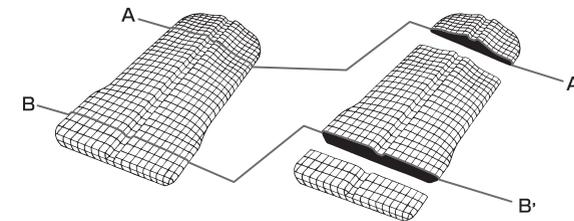
- ドライバーや同乗者の腰や背中を保護します
- 腰痛、背痛が緩和されます
- 長距離、長時間ドライブでの疲労がたまりにくくなります
- ドライブ中に背骨を自然矯正します
- 姿勢が正しくなることで、運転での集中力が高まります
- シートベルトの違和感を軽減します
- 胸郭を広げ胃腸をリラックスさせます
- 通気性、保温性があり快適な使用感を味わえます
- スポーツシート (バケットシート) にも対応できます

こんな方におすすめです

- 長距離、長時間運転する方、また同乗される方
- 乗車中、息苦しくなる方
- 腰痛、背痛の方
- 肩が凝りやすい方
- シートベルト装着に違和感がある方
- 乗車中、胃腸がもたれる方
- 腰痛背痛のため車に長時間乗れない方

シートバック パラドクス

優しく包み込むシートバックの考え方ではなく、背骨を取りまく左右の筋肉に自然に圧がかかることで背中や腰にかかる負担を軽減できるようにしたシートバッククッションです。 ◆その決め手となる 2 つの機能を持た芯材形状



素材・規格

- ◎基本形状が変わらない素材の威力
- ◎人間の筋肉の弾力性に近づけた素材
- ◎立体ハニカム使用により通気性確保

芯材：ポリプロピレン
クッション材：低反発ウレタン
カバー：ポリエステル・コットン
ベルト：ポリプロピレン
フック：ポリアセタール
サイズ：54×32×5.5cm

